



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部金44円
題字 井戸知事

火は消した？
いつも心に
きいてみて

平成十六年度消防庁長官表彰

県下三消防機関 一〇六名が受章

平成十七年三月四日(金)、平成十六年度消防庁長官表彰式が、東京虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホールにおいて盛大に行われ、各表彰受章代表者に表彰状等が授与されました。県下の受章機関、受章者は次のとおりです。

本県受章機関・受章者

表彰旗 二機関	佐用町消防団	香住町消防団	竿頭綬 一機関	東浦町消防団	功労章 九名
加古川市消防団	花房 次郎	吉田 繁	南 巧	向田 淳	梶元 逸男
明石市消防本部	茂徳 茂徳	民男	豊岡市消防団	分団長	蜂須賀久人

宝塚市消防本部	消防監 上坂 正一	六粟広域消防事務組合消防本部	消防監 森谷 秀藏	永年勤続功労章 九十七名	神戸市中央消防団	副団長 葉田 勝
神戸市北消防団	副団長 塚本 厚	神戸市西消防団	分団長 溝本 幸男	神戸市垂水消防団	副団長 山口 征基	
姫路市姫路東消防団	副団長 坪田 裕	姫路市姫路西消防団	副団長 前田 昭廣	姫路市姫路西消防団	副団長 藤井 信行	
尼崎市消防団	副団長 竹内征三郎	明石市消防団	分団長 高田 幸春	明石市消防団	分団長 市場 賢介	
西宮市消防団	分団長 西阪 欣也	洲本市消防団	副団長 小川 宏行	芦屋市消防団	副団長 中路 則昭	
相生市消防団	副団長 高畑 周作	豊岡市消防団	分団長	加古川市消防団	副団長 中崎 弘一	
龍野市消防団	副団長 武内 憲成	赤穂市消防団	分団長 阿部 正美	宝塚市消防団	分団長 辰家 宏弥	
三木市消防団	副団長 中井 英典	高砂市消防団	分団長 谷本 政男	川西市消防団	副団長 水口 充啓	
小野市消防団	副団長 松尾 義久	三田市消防団	分団長 今井 勝	篠山市消防団	副団長 河南 克典	
養父市消防団	副団長 小林 国彦	南あわじ市消防団	副団長 原 尚良	猪名川町消防団	副分団長 下保 一雄	
吉川町消防団	副分団長 中西 君一	黒田庄町消防団	副分団長 土井 義博	揖保川町消防団	副分団長 石田 繁	
竹野町消防団	分団長 万戸 輝光	香住町消防団	分団長 福島 勉	但東町消防団	副団長 桑田 均	
村岡町消防団	副団長 小林 隆夫	浜坂町消防団	分団長 浦木 直人	生野町消防団	副団長 山野 要藏	
和山町消防団	分団長 高藤 久雄	朝来町消防団	副団長 大田垣 強	淡路町消防団	副団長 正井 一平	
北淡町消防団	分団長 橋形 勝行	一宮町消防団	分団長 平山 忠雄	東浦町消防団	分団長 山崎 隆弘	
神戸市消防局	消防正監 石原 常博	消防正監 村井 宏志	消防司令長 三谷 浩一	消防司令 小前 實		
消防司令 小見 彰	消防司令 測上 信生	消防司令 金岡 清一	消防司令 黒木 勝美	消防司令 下村 昭		
消防司令 祖父江 博	消防司令 長尾 正人	消防司令 中野 武人	消防司令 藤井 義信	消防司令 松森 省二		
消防司令 湯川 卓郎	消防司令 植村 仁一	消防司令 丹波市消防本部	消防司令 中能 慶三	加東行政事務組合消防本部	消防司令 石古 覚	
淡路広域消防事務組合消防本部	消防司令 仲 聖史	中播消防事務組合消防本部	消防司令 水谷 貢	佐用郡広域行政事務組合消防本部	消防司令 山内 成年	

加古川市消防団	副団長 中崎 弘一	龍野市消防団	副団長 武内 憲成	赤穂市消防団	分団長 阿部 正美	宝塚市消防団	分団長 辰家 宏弥	三木市消防団	副団長 中井 英典	高砂市消防団	分団長 谷本 政男	川西市消防団	副団長 水口 充啓	小野市消防団	副団長 松尾 義久	三田市消防団	分団長 今井 勝	篠山市消防団	副団長 河南 克典	養父市消防団	副団長 小林 国彦	南あわじ市消防団	副団長 原 尚良	猪名川町消防団	副分団長 下保 一雄	吉川町消防団	副分団長 中西 君一	黒田庄町消防団	副分団長 土井 義博	揖保川町消防団	副分団長 石田 繁	竹野町消防団	分団長 万戸 輝光
---------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	----------	--------	-----------	--------	-----------	----------	----------	---------	------------	--------	------------	---------	------------	---------	-----------	--------	-----------

香住町消防団	分団長 福島 勉	但東町消防団	副団長 桑田 均	村岡町消防団	副団長 小林 隆夫	浜坂町消防団	分団長 浦木 直人	生野町消防団	副団長 山野 要藏	和山町消防団	分団長 高藤 久雄	朝来町消防団	副団長 大田垣 強	淡路町消防団	副団長 正井 一平	北淡町消防団	分団長 橋形 勝行	一宮町消防団	分団長 平山 忠雄	東浦町消防団	分団長 山崎 隆弘	神戸市消防局	消防正監 石原 常博	消防正監 村井 宏志	消防司令長 三谷 浩一	消防司令 小前 實	消防司令 小見 彰	消防司令 測上 信生	消防司令 金岡 清一	消防司令 黒木 勝美	消防司令 下村 昭	消防司令 祖父江 博	消防司令 長尾 正人	消防司令 中野 武人	消防司令 藤井 義信	消防司令 松森 省二	消防司令 湯川 卓郎	姫路市消防局	消防正監 大和 裕史	消防司令長 三木 東一	消防司令 矢倉 文雄	消防司令 藤尾 修	消防司令 早川 一隆	消防司令 坂口 一誠	消防司令 玉利 教男	明石市消防本部	消防司令 山内 成年
--------	----------	--------	----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	------------	------------	-------------	-----------	-----------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	--------	------------	-------------	------------	-----------	------------	------------	------------	---------	------------

消防司令長 林 善信	消防司令 堀田 豊見	西宮市消防局 消防司令長 川人 悦治	消防司令 青山 幸夫	消防司令 足代 進	消防司令 村本 保夫	芦屋市消防本部 消防司令 市川 武夫	伊丹市消防局 消防司令 石田 正基	相生市消防本部 消防司令 西口 慧一	加古川市消防本部 消防司令 新田 芳信	高 徳男	山崎由紀浩	龍野市消防本部 消防司令 八木 正美	赤穂市消防本部 消防司令 藪下 直紀	宝塚市消防本部 消防司令 岸田 幸治	三木市消防本部 消防司令 林 五郎	高砂市消防本部 消防司令 長池 勝年	川西市消防本部 消防司令 梶原 詳司	小野市消防本部 消防司令 西中 隆己	小野市消防本部 消防司令 藤原 良一	三田市消防本部 消防司令 前西 剛	加西市消防本部 消防司令 今城 進	篠山市消防本部 消防司令 植村 仁一	丹波市消防本部 消防司令 中能 慶三	加東行政事務組合消防本部 消防司令 石古 覚	淡路広域消防事務組合消防本部 消防司令 仲 聖史	中播消防事務組合消防本部 消防司令 水谷 貢	佐用郡広域行政事務組合消防本部 消防司令 山内 成年
------------	------------	--------------------	------------	-----------	------------	--------------------	-------------------	--------------------	---------------------	------	-------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	------------------------	--------------------------	------------------------	----------------------------

平成十六年度 全国消防団地域活動表彰式

平成十六年二月二十五日(金)、総務省消防庁主催の「平成十六年度全国消防団員意見発表会・消防団地域活動表彰式」が東京虎ノ門のニッショーホールで開催されました。この地域活動表彰式では、「他の模範となる平常時の消防団活動を行う消防団」として、小野市消防団が表彰されました。小野市消防団は、女性分団による救急・応急手当の市民研修会や自主防災組織と連携した訓練活動などの活動が認められ、このたび表彰されることとなりました。また、平成十六年は、全国各地で大規模災害に見舞われまし

たが、これらの災害で顕著な活動を行った消防団に対しては、防災功労者消防庁長官表彰及び消防庁長官褒状の授与が行われることとなり、兵庫県では、消防庁長官表彰が豊岡市消防団、と赤穂市消防団に、消防庁長官褒状が洲本市消防団、相生市消防団、西脇市消防団、上郡町消防団、出石町消防団、但東町消防団、和山町消防団及び津名郡一宮町消防団に授与されました。同時に、「消防団活動事例報告会」も開催され、豊岡市消防団の西垣団長が豊岡市内での台風二十三号の被害状況や豊岡市消防団の活動内容について報告しました。



消防功労者表彰式

「ふるさとを愛する 団員づくりを目指して」 神崎町消防団 藤原 泰彦 団長



神崎町の北東部に位置する神崎町は、県立自然公園として知られる笠形山と千ヶ峰、谷あい

「消防団と家族を愛する団長」 中町消防団 藤本 憲一 団長



藤本団長は、平成十二年に副団長に就任、平成十六年からは団長として四七六名の団員のリーダーとして、また多可郡の消防協会長として郡内の消防団の

わがまちの団長さん

123

を流れる越知川、猪熊川など美しい自然環境に恵まれた緑豊かな町です。その一方、ほ場整備、上下水道、学校、病院、ケーブルテレビなど生活基盤は高い水準で整備が進んでおり、住民が快適に生活できる町づくりが展開されています。

藤原団長は、昭和五十六年に入団され、分団歴十七年を経て平成十二年から団長の補佐役として副団長に抜擢され、平成十六年四月に団長に就任されました。

平成十六年は、当町でも台風十六号、十八号、二十三号の相次ぐ来襲により近年例のない被害を受けましたが、団長の迅速的確な判断により、団員の指揮し、その被害を最小限に食い止めることができました。

また、団長は「消防の基本は、火災を出さないこと」の精神で、全分団に毎週一回はポンプ車で広報活動を実施するよう指導されています。今日では、消防団員と地域住民の防火意識も高まり、「火災ゼロ」を宣言できる

ほどの町になりました。そんな団長の口癖が「人を愛し、郷土を愛する心を育てる。」であり、近年、団員数が年々減少し、サラリーマン団員の増加により消防団活動が年々難しくなっている中、郷土愛護の精神を持った団員を育てることに尽力されています。

また、若者が入団したいと思うような魅力ある消防団づくりも目指しておられ、「地域から愛される消防団づくり」に日夜力を注いでおられる団長さんです。

消防団幹部特別研修を受講して



芦屋市消防団 副団長 中路 昭昭

この度、第三十一回消防団幹部特別研修に派遣していただき、受講してまいりました。

昨年、「災」という字が象徴するように、日本の各地で台風や地震による大被害が発生し、兵庫県においても台風による被害で但馬から淡路まで大きな被害を受け、心の痛む一年でありました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。本年は、あの阪神・淡路大震災から十年の節目を迎え、南海・東南海地震の発生が懸念される

中、市民の生命・財産を守るという消防団の重責を再認識しています。

今回受講させていただきました研修は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種教養を行い、消防団の指導者を養成することを目指すとして、平成十七年一月十八日から二十一日の四日間、日本消防会館で実施され、その内容は多岐にわたりました。

開講式は、日本消防協会徳田会長の挨拶に始まり、秋本消防協会理事長の訓話があり参加者全員が緊張の面持ちで拝聴しました。講義は、消防庁東尾次長「消防行政」で始まり、消防庁や東京消防庁の幹部による消防団運営、防災対策、消防団実務、震災対策など消防全般にわたる内容でした。

最終日には、東京都赤羽消防団の女性分団長と愛媛県新居浜市消防団長の活動事例報告があり、午後からの閉講式では、四十七名全員が修了証を授与され解散となりました。

今回の研修を受講して、講師の方々が日本の消防行政に精通した方ばかりで、講義内容が非常に理解しやすく、中でも、全国的に団員が減少しサラリーマン団員が増加している状況を再認識し、消防団の活動環境の整備と活性化の必要性を強く感じました。私自身、以上に地域住民と密着した活動を行い、市民から信頼される消防団を目指して努力する所存です。

終わりに、このような意義深い研修を受講の機会を与えていただきました(財)兵庫県消防協会に心から感謝申し上げますとともに、今回、一緒に受講した全国四十七名の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



平成17年消防出初式(消防大会)日程表 (3月以降実施分)

地区	実施日	市町名	開始時刻	場所	
阪南地区	4月3日(日)	三田市	9:00	三田市総合福祉保健センター駐車場	
		神崎町	9:00	神崎町民グラウンド	
中播磨地区	4月3日(日)	香寺町	9:00	香寺町中央公民館グラウンド	
		西脇市	9:00	1部 西脇市民会館前 2部 西脇市民会館大ホール 3部 一斉放水	
北播磨地区	4月3日(日)	三木市	9:00	三木市立三樹小学校グラウンド	
		社町	10:00	社町庁舎	
		滝野町	9:00	東小学校	
		東条町	9:00	東条町文化会館	
		中町	8:00	中町町民グラウンド(予定)	
		加美町	9:30	加美中学校グラウンド	
		八千代町	9:00	町民体育館	
		黒田庄町	9:30	黒田庄町中学校体育館	
		小野市	9:00	小野市役所東駐車場	
		加西市	10:00	加西市民会館	
西播磨地区	3月20日(日)	吉川町	10:00	吉川町総合中央活動センターグラウンド	
		山崎町	9:45	山崎小学校グラウンド	
		安富町	9:30	安富北小学校運動場	
		(安)一宮町	10:00	一宮南中学校グラウンド	
		波賀町	9:30	波賀町総合スポーツ公園(メイプルスタジアム)	
		千種町	8:50	千種南小学校グラウンド	
		上月町	9:00	上月町民グラウンド	
		徳久小学校			
		4月3日(日)	上南光町	9:00	徳久小学校
		4月3日(日)	養父市	9:00	八鹿文化会館
但馬地区	4月10日(日)	日高町	9:00	日高町役場前駐車場	
		温泉町	9:00	健康公園すこやかドーム	
		5月下旬 予定	村岡町 美方町		合併後、新消防団で実施予定

北から南から

「山田錦の郷・よかわ」

吉川町消防団

六甲の山あいを抜けると、そこは酒米の王様「山田錦」の郷、吉川町です。この吉川町が初めて文獻上に登場するのは、八世紀初頭に編纂された「播磨風土記」ここに記された「吉川の里」が現在の吉川町にあたると言われています。

今回はそんな実り多き自然と古き良き伝統・文化を誇るわがまち吉川、そして自然資源を最大限に発揮し、新しい魅力を生み出そうとしているわがまち吉川をほんのちよっぴり紹介してみたいと思います。

まず、吉川町といえばやはり酒米「山田錦」です。美酒づくりの決め手のひとつである酒米の中でも最高級品とされており、特に吉川町は気候、土壌の関係から心白が大きく、大粒で光沢のある山田錦の産地として名声



「山田錦の館」(奥は吉川温泉「よかたん」)



「よかたん」はオープン以来、宮神社「ヤホー神事」をこ紹介

最後に室町時代から伝わる「若



来、癒しの湯、和みの湯として大好評です。現代の湯治場、掛け流しの源泉場は日本一の炭酸成分を含有しており、弱アルカリの温泉成分は美肌効果が高いといわれ、足湯、家族風呂、サウナと話題満載の日帰り温泉です。

「山田錦の館」は日本唯一の酒米ミュージアムを兼ね備え、館内では他に新鮮野菜の直売・特産品の販売・日本酒の試飲・地元食材を使ったレストランなどが大人気です。特に「ようし

直売所は朝から晩まで大盛況で

「よかたん」とあわせて京

阪神から多くの方が訪れます。

最後に室町時代から伝わる「若

宮神社「ヤホー神事」をこ紹介

します。先の山田錦はもちろん

「よかたん」

はオープン以来

「よかたん」

はオープン以来

「よかたん」

はオープン以来

「よかたん」

はオープン以来

「よかたん」

はオープン以来

「よかたん」

はオープン以来

「よかたん」

はオープン以来

「よかたん」

地区通信

「海と緑が育む住みよい町・須磨」

神戸市須磨消防団

私たちの町「須磨」は、古くから風光明媚な地として知られ、

もあり、「源平一の谷の合戦」の舞台となった須磨一の谷、そして「青葉の笛」で知られ、お大師様の信仰でも有名な「須磨寺」など、源平合戦にまつわる多くの史跡が点在しています。今年から始まったNHKの大河ドラマ「義経」の中でもきつと重要な場面の舞台として「須磨

のこと、秋の祭り・五穀豊穡を願って、若宮神社秋祭りの中で祭りが開かれます。

獅子頭を先頭に、並び鱗小紋を染め抜いた赤茶色の衣装と鬼の面をつけた棒振、小鼓打などが行列を作り、神楽歌を歌いながら境内を進んでいきます。神前、棒振と馬に乗った子ども、蚊帳の中に入った子どもとの問答が行われます。神楽歌の「イヤホー(なおいっす祝うの意)」から名

がついたというこの行事、県の重要無形民俗文化財に指定されています。

このようにふるさと『山田錦の郷・よかわ』を守るため、吉川町消防団も日々

「ヤホー神事」若宮神社にて

「ヤホー神事」若宮神社にて

「ヤホー神事」若宮神社にて

「ヤホー神事」若宮神社にて

「ヤホー神事」若宮神社にて

「ヤホー神事」若宮神社にて

が取り上げられることでしよう。

全国から大勢の方が観光にいられると予想され、地元ではいろいろな機関で対策に余念がありませんが、地域防災の一翼を担う須磨消防団も、去る一月十五日に須磨海水浴場・海浜公園にて行われた大規模訓練に、須磨区防災福祉コミュニティ、油断関連事業所、須磨消防署等の関係機関とともに参加しました。

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力

今にも雨が降りそうな、あいにくのお天気でしたが、神戸空手道連盟の児童から大人まで四五〇名余りの「寒稽古」の演舞で元気をいただいた後、実車を使った救急救助訓練、十トン組立水槽二基を設置し、小型動力



一斉放水「放水ははじめ」

ポンプ十台二十線による一斉放水訓練などが行われました。防災福祉コミュニティの方の中には、筒先を初めて持つという方もおられ、水圧の強さに驚いていましたが、何よりも寒稽古に参加した子供たちが真剣に訓練に取り組んでくれたことを嬉しく感じました。

訓練の後、地元婦人会の方々による「炊き出し」の奉仕があり、冷え切った体には誠に有難いものでしたが、訓練参加者が大人数でしたので、お世話が大変であったと思われます。

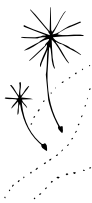
地域住民の方々をはじめ、関係機関のご協力を得て、阪神・淡路大震災から十年の節目に行われた訓練でしたが、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を参加者全員でしっかりと確認できた意義ある訓練になったことを感謝し、安全で安心して暮らせる街づくりを目指し、責任ある消防団活動にこれからも日々精進・努力を重ねてまいります。

【お知らせ】

「兵庫消防」四月号は休刊とさせていただきます。

編集後記

野山に春の色が濃くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。今月号では、平成十六年度消防庁長官表彰受章者の皆さんを掲載しております。心からお祝い申し上げます。また、消防団今昔には元高砂市消防団副団長砂川弘さん、元市島町消防団副団長中野勝利さん、元消防団幹部特別研修の感想文を芦屋市消防団副団長中野昭さんよりご寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。



・操法最適ホース：コンベヴコスモAJ
 ・小型動力ポンプ：ラビットダイヤモンドフジシリーズ
 ・小型動力ポンプ積載車（標準型・全自動型）
 ・消防ポンプ自動車（モリタ）
 ・消防用資機材全般

総合防災コンサルタント
西垣消防器具製作所
 〒669-5213 兵庫県朝来郡和田山町玉置461
 TEL: (0796) 72-3131
 FAX: (0796) 72-3132
 E-mail: fp-nsgk@woc.2net